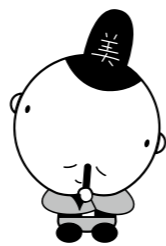


みまさかのくに  
**美作国建国1300年 Vol.19**

美作国建国1300年記念事業実行委員会 ☎35-3434 ☎35-3435



**購入申込  
受付中**



美作国建国1300年記念歴史冊子  
**「みんなで学ぶ ふるさと美作のあゆみ」**

美作国の歴史を写真や図版を使って分かりやすく解説した歴史冊子ができ上がりました。美作地域の歴史や文化、自然などを年代別に紹介しています。

**冊子概要** B5判、全148ページ、フルカラー  
**価格** 1,500円(送料別)  
**発行部数** 2,000部  
**申込方法** 電話で、実行委員会に直接申し込む

ワシも知らぬような  
美作国の歴史が書いてあるそうじゃ。



**美作国を歩こう！ 美作国の街道歩き**

■倉吉街道コース(1泊2日)

**とき** 11月6日(水)~7日(木)午前9時20分~午後6時  
**集合場所** 津山駅またはPLANT5(鏡野町)  
**定員** 20人(先着順) **参加費** 13,800円  
**見学場所** 1日目は新町宿場町、たたら記念館、奥津溪など、2日目は妖精の森ガラス美術館、恩原高原、人形仙三十七人墓、人形仙母子地蔵など  
**宿泊** 上斎原温泉 国民宿舎いつき(鏡野町)  
**締め切り** 10月30日(水)

■久世宿・勝山宿コース

**とき** 11月10日(日)午前8時45分~午後3時  
**集合場所** 勝山文化センター(真庭市)  
**定員** 50人(先着順) **参加費** 2,500円  
**見学場所** 旧遷喬尋常小学校、重願寺、龍玄寺跡、化生寺、玉雲宮、勝山町並み保存地区など  
**締め切り** 11月1日(金)

■勝間田宿・土居宿コース

**とき** 11月30日(土)午前8時~午後2時15分  
**集合場所** 勝央町役場  
**定員** 50人(先着順) **参加費** 1,500円  
**見学場所** 下山本陣、旧勝央町郷土美術館、土居西惣門、土居宿場資料館など  
※土居駅~勝間田駅間はJRを利用します  
**締め切り** 11月8日(金)

**申込方法** 所定の申込書(ホームページから印刷可)に記入して、ファクスまたは、Eメールで申し込む  
**美作国建国1300年記念事業実行委員会** ☎35-3434 ☎35-3435 ホームページ <http://www.mimasaka1300.org/> [info@mimasaka1300.org](mailto:info@mimasaka1300.org)



**「陶棺復元プロジェクトと美作の陶棺展」シンポジウム**

**とき** 10月27日(日) 復元陶棺除幕式=午後0時50分~、シンポジウム=1時30分~  
**ところ** 勝北文化センター(新野東) **テーマ** 陶棺の謎に迫る  
**講師** 光本順さん(岡山大学大学院准教授)、絹島歩さん(奈良県立橿原考古学研究所技師)、豊島雪絵(市文化課主任)  
**コーディネーター** 尾上元規さん(県文化財課主幹)  
※復元陶棺は、シンポジウム終了後、12月1日まで津山郷土博物館に展示します  
**文化課(弥生の里文化財センター)** ☎24-8413



きらめく

**津山人**

徳守祭だんじり若頭會 会長  
**江田強さん(小性町)**

城下町・津山に秋の深まりを告げる「津山まつり」。その一つ、徳守神社の祭りに花を添え、だんじりの歴史と伝統を守ろうと活動する徳守祭だんじり若頭會。会長の江田さんにお話を伺いました。

**徳守祭だんじり若頭會はどのような団体ですか？**  
津山まつりやだんじりの歴史・伝統を守り、受け継いでいこうと、徳守神社の氏子町内会の若手有志が集まり、平成24年5月に結成しました。氏子町内会は40以上ありますが、全ての町内会が毎年、祭りに参加するわけではありません。

**どのような活動を行っていますか？**  
昨年は、祭りの当番町に当たっていない会員も参加して、祭り会場の清掃活動を行いました。また、みんなの気持ちの一つにするため、その日の絆を新調しました。津山まつりには、この絆を全員が着て参加します。

**江田さんにとって、津山まつりとは何ですか？**  
わたしは、津山生まれの津山育ちです。幼い頃からだんじりの太鼓や鐘の音、「ソーヤレ、ソーヤレ」と囃す拍子聞き、勇壮な神輿練りなどを見て、育ちました。だから、祭りが近付くと自然と気が

また、これまでは、祭りを通じたつながりは、町内会内では強かったのですが、町内会同士の交流はあまり活発ではありませんでした。そこで、この会では、各町内会の若手が集まることで、つながりを強くしていくとしています。

**この活動を通じて津山をどうしていきたいですか？**  
津山まつりのだんじりの多くは、県の文化財にも指定されるなど、歴史と伝統があります。このような祭りは他に類を見ないと思います。これは、先輩方が伝統を守り、伝えてきてくれたおかげです。わたしたちは、その伝統を守り、津山まつりがもっと魅力ある祭りになるように盛り上げて、次の世代に伝えていかなければならないと思っています。そうすることで、祭りを愛し、津山を愛する人が増えてくれると思います。



迫力あるだんじりの曳き廻し

伝統を守り、「祭の心」を伝える

